

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2014/8/9～8/15
山名	南アルプス 赤石岳～塩見岳
CL	諫山 (単独)
HP記載の有無:	
(コース)	<p>8/9 新幹線で静岡入り 8/10 静鉄バス運休の為、東海道本線・大井川鉄道にて井川へ 8/11井川より、民宿の主人の送りで畑薙第一ダムへ 東海フォレストバス崖崩れの為運休 畑薙第一ダム9時10分(徒歩)～榎島15時15分 8/12 榎島4時～赤石小屋8時10分～赤石岳11時40分～13時40分荒川小屋(カレー) ～15時30分荒川中岳避難小屋(泊) 8/13荒川中岳4時35分～荒川前岳(4時50分～5時45写真撮影)～7時35分高山裏避難小屋 ～小河内岳10時45分～烏帽子岳12時～三伏峠13時(水分補給)～本谷山13時55分 ～16時塩見小屋 8/14塩見小屋5時15分～塩見岳6時15分～本谷山8時45分～三伏峠9時45分 ～11時20分鳥倉登山口 林道を3時間30分歩き、伊那交通バスに乗り 伊那大島駅14時 飯田線にて豊橋まで(約4時間) 8/15新幹線にて帰福</p>
(コメント)	<p>南アルプスの登山基地榎島は遠い。その榎島の手前、一般車両の終点である畑薙第一ダム へ向かう静鉄バスが台風の為運休との電話。明日は予約で満席。ここでじっとしていても始ま らないので、バス停へ向かう。そこで出会った人たちとJR・大井川鉄道を利用して井川へ。 ここまで4時間。やっぱり遠い。猟師の民宿ふるさとで鹿肉料理を堪能。明朝畑薙第一ダムへ。 やはりというか東海フォレストのバスがこない。林道に土砂が流れ出して運休。どうする？ 榎島まで歩くかそれとも待つか。今日、少なくとも赤石小屋まで行かなければ、塩見小屋まで 二日で行くのは、自分の力では難しい。焦ってもしょうがないがじっとしているのも辛い。ええい 歩きだせ。と歩きだした瞬間。民宿に財布を忘れたことに気づく。携帯は圏外。民宿まで歩け ない。5時間かかるか。終わったと思った時に、軽トラが一台。民宿のおじいちゃんが財布 を持ってきてくれた。これ以上の不幸中の幸いはない。全ての不都合を受け入れて前向きに進 む覚悟ができた。榎島まで20kmを歩く。午後3時過ぎに到着。停電・水風呂位何てことない。</p> <p>次の日の朝4時に出発。5分後に雨。それでも山道を歩けることに感激。順調に4時間余りで 赤石小屋へ。稜線は強い風雨。引き返す人もいる。しかし、前週の久住星生山の方が酷かった。 トレーニングが功を奏す。11時40分赤石岳山頂。すでにここまで、単純高低差2000m。ここで ゆっくりしようと、避難小屋の親父に宿泊を申し出る。塩見小屋は諦めようと思った時に、親父が 一言。「まだ12時だねえ。諦めるのは早い。ぜんざいパワーで荒川小屋まで行けえ」。って言わ れて、小屋のドアを開けた。前へ進む。ぜんざいだけでは足りず。荒川小屋でカレーを食べて 荒川中岳まで、標高差450mを登り返す。寒い1日。歩いていても寒い。中岳避難小屋のストー ブで暖を取る。宿泊者は8人ほどのベテラングループと単独4人。単独は全て榎島からの若者。 でも、俺は若くはない。明日、塩見小屋まで行けるか。</p> <p>3時45分に起床。4時半過ぎに外に出る。昨夜までのガスが取れ、富士山と赤石岳の雄姿。 一人きりの山頂。感激である。中央アルプス・北アルプス、後立山も見える。田山さん元気かな。 6時前に荒川岳を下る。荒川大崩壊地は登山道を削っている。登山道そのものを付け替える日 も近いかも。高山裏避難小屋から小河内岳・烏帽子岳と続く稜線は、仙塩尾根同様南アルプス らしき満載で素晴らしい。天候は持っているが、昨日の疲れで上りが登れない。濡れた服でザ ックは20kgを超えている。三伏峠を過ぎてからの、三伏山、本谷山、最後の塩見小屋への上り は辛かった。三歩進んで立ち止り。二歩進んで立ち止り。4時にやっと小屋へ。息切れが一時間 以上止まらない。ご飯も2杯食べるのがやっと。ゼリーを食べてやっと生気を取り戻す。</p> <p>夜は寝た。が明日の天気が気になる。蠅蠅尾根を行くか行かぬか。雨がガスなら諦め。無理 はするが、無茶はしないがモットー。夢では、晴れていたのだが明朝、現実には雨・ガスガス。 視界は50mほど。蠅蠅は天気がいい時にまた来よう。塩見岳の山頂付近でトランスジャンプの 選手に会う。No.10の船橋智選手だ。4日目とのこと。黙々と歩いて行く。現実には孤独な戦いだ。 選手に負けず、俺も下りは早い。塩見小屋～鳥倉登山口まで4時間足らず。さらにバスが来る まで3時間半20km弱を歩く。何かしらの充実感と一抹の寂しさが去来する。これで終了。 蠅蠅尾根と二軒小屋ロジはまたの機会に。</p> <p>最後に付け加えて置くが、南アルプスのアプローチは伊那側でも大変。鳥倉登山口からバス は一日2往復。1時間40分で伊那大島駅。そこから、東海道線の豊橋までは普通列車で何と 4時間。二軒小屋ではなく、豊橋のホテルで一泊して帰福。</p>
費用概算	
(交通費)	総額 ÷ ○ = 交通費 約4,6000円 宿泊費 約35,000円
(その他)	□ □ ÷ △ =